



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場会社名 株式会社ウォーターダイレクト 上場取引所 東
 コード番号 2588 URL http://www.waterdirect.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役執行役員社長 (氏名)伊久間 努
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理部長 (氏名)栗原 智晴 (TEL)03(5487)8101
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,711	—	131	—	118	—	41	—
26年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 39百万円(—%) 26年3月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	5.14	5.10
26年3月期第2四半期	—	—

(注)平成27年3月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,595	2,298	29.1
26年3月期	—	—	—

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 2,212百万円 26年3月期 一百万円

(注)平成27年3月期第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	—	450	—	400	—	150	—	18.49

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期2Q	8,128,400株	26年3月期	8,113,400株
27年3月期2Q	159株	26年3月期	159株
27年3月期2Q	8,117,995株	26年3月期2Q	6,876,665株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策により緩やかな景気の回復基調が続いているものの、海外情勢に対する不安感や輸入原材料等の価格上昇、消費税増税による可処分所得の実質目減りなどの景気の下振れ要因があり、依然として不透明な状況で推移しております。

ホーム・オフィス・デリバリー業界（宅配水製造・販売事業）におきましては、東日本大震災以降の飲料水への「安心」・「安全」・「安定供給」に対する需要の高まりを受け、宅配水の認知度は確実に向上し、顧客数も個人を中心に増加傾向にあります。また、宅配事業者の料金体系改定等の影響による物流コストの上昇など厳しい状況も生じております。

このような状況の下、当社グループはさらなるシェア拡大のための営業活動強化策として、直販部門を分社化、株式会社ディー・アクションを設立し、デモンストレーション販売体制の強化に努めました。また、本年1月に設立した株式会社光通信との合弁会社 株式会社アイディール・ライフが4月より営業を開始し、テレマーケティングや法人営業を通じて新たな顧客開拓を進め、契約者数は順調に推移しております。また、物流コストの上昇への対応策の一環として商品価格の改定を実施いたしました。その結果、売上高は4,711百万円、売上総利益は3,759百万円となりました。

また、営業活動強化による販売促進費の増加、原油価格高騰などにより物流費が増加した一方で、PET容器の内製化など製造原価の低減に努めた結果、営業利益は131百万円、経常利益は118百万円、四半期純利益は41百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の流動状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は7,595百万円となりました。

流動資産は4,175百万円となりました。主な内訳につきましては、現金及び預金が2,316百万円、売掛金が914百万円であります。

固定資産は3,419百万円となりました。主な内訳につきましては、建物が854百万円、賃貸用資産が3,195百万円、減価償却累計額が2,348百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は5,296百万円となりました。主な内訳につきましては、流動負債における1年内返済予定の長期借入金が1,259百万円、固定負債における長期借入金が1,692百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は2,298百万円となりました。主な内訳につきましては、資本金が1,207百万円、資本剰余金が417百万円、利益剰余金が587百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は2,298百万円と前事業年度末に比べ53百万円減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は、98百万円となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益118百万円、資金の支出を伴わない減価償却費427百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、741百万円となりました。この主な要因は、ウォーターサーバー購入等有形固定資産の取得による支出700百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は577百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の返済による支出100百万円、長期借入金の返済による支出573百万円、リース債務の返済による支出114百万円等があったものの、短期借入金の新規借入による収入100百万円、長期借入金の新規借入による収入1,292百万円等があったことによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に発表いたしました業績予想に変更はありません。ただし、何等かの要因により業績予想の修正が必要であると判断される場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、重要な子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社ディー・アクションを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間より、重要性が増した富士ウォーター株式会社及び株式会社アイディール・ライフを連結の範囲に含めております。

当第2四半期連結会計期間より、新たに設立した深圳日商沃徳管理諮詢有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成26年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,316,302
受取手形及び売掛金	914,403
商品及び製品	455,112
原材料及び貯蔵品	101,590
その他	391,776
貸倒引当金	△3,382
流動資産合計	4,175,803
固定資産	
有形固定資産	
建物	854,898
賃貸用資産	3,195,356
その他	1,267,099
減価償却累計額	△2,348,838
有形固定資産合計	2,968,516
無形固定資産	193,989
投資その他の資産	
その他	268,791
貸倒引当金	△11,971
投資その他の資産合計	256,819
固定資産合計	3,419,325
資産合計	7,595,128
負債の部	
流動負債	
買掛金	136,856
短期借入金	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,259,160
1年内償還予定の社債	203,200
未払金	821,924
未払法人税等	86,576
その他	236,434
流動負債合計	2,844,153
固定負債	
社債	52,000
長期借入金	1,692,670
資産除去債務	250,772
その他	457,231
固定負債合計	2,452,674
負債合計	5,296,828
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,207,608
資本剰余金	417,108
利益剰余金	587,466
自己株式	△109
株主資本合計	2,212,074
その他の包括利益累計額	
繰延ヘッジ損益	△505
為替換算調整勘定	104
その他の包括利益累計額合計	△401
新株予約権	31,532
少数株主持分	55,095
純資産合計	2,298,300
負債純資産合計	7,595,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,711,239
売上原価	951,814
売上総利益	3,759,425
販売費及び一般管理費	3,627,560
営業利益	131,865
営業外収益	
助成金収入	5,989
為替差益	9,377
受取補償金	6,119
その他	6,587
営業外収益合計	28,073
営業外費用	
支払利息	23,524
上場関連費用	15,725
その他	1,844
営業外費用合計	41,093
経常利益	118,845
税金等調整前四半期純利益	118,845
法人税、住民税及び事業税	80,074
法人税等合計	80,074
少数株主損益調整前四半期純利益	38,770
少数株主損失(△)	△2,916
四半期純利益	41,686

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
少数株主損益調整前四半期純利益	38,770
その他の包括利益	
繰延ヘッジ損益	137
為替換算調整勘定	104
その他の包括利益合計	241
四半期包括利益	39,011
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	41,928
少数株主に係る四半期包括利益	△2,916

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	118,845
減価償却費	427,531
のれん償却額	2,083
貸倒引当金の増減額(△は減少)	715
受取利息及び受取配当金	△383
支払利息	23,524
為替差損益(△は益)	△12,497
上場関連費用	15,725
売上債権の増減額(△は増加)	△179,241
リース投資資産の増減額(△は増加)	60,379
たな卸資産の増減額(△は増加)	△205,870
仕入債務の増減額(△は減少)	35,490
未払金の増減額(△は減少)	298,977
前受収益の増減額(△は減少)	△21,595
前払費用の増減額(△は増加)	△197,146
長期前払費用の増減額(△は増加)	△158,526
その他	14,750
小計	222,762
利息及び配当金の受取額	378
利息の支払額	△20,442
法人税等の支払額	△104,468
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,229
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△7,500
定期預金の払戻による収入	6,000
有形固定資産の取得による支出	△700,850
無形固定資産の取得による支出	△38,801
その他	△608
投資活動によるキャッシュ・フロー	△741,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	100,000
短期借入金の返済による支出	△100,000
長期借入れによる収入	1,292,315
長期借入金の返済による支出	△573,104
社債の償還による支出	△5,600
新株予約権の行使による株式の発行による収入	6,255
少数株主への配当金の支払額	△12,500
リース債務の返済による支出	△114,411
その他	△15,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	577,228
現金及び現金同等物の換算差額	12,601
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△53,700
現金及び現金同等物の期首残高	2,235,388
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	116,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,298,302

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ホーム・オフィス・デリバリー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。